

東京オリンピック・パラリンピック等スポーツ観光推進事業・概要

～2020年に向けて 館山市の挑戦～

館山市は、2015年に2020年東京オリンピック・パラリンピック館山市推進本部設立し、モントリオールオリンピック女子バレーボール金メダリストの田村悦智子(旧姓前田)さんを本部長に迎えた。推進本部を設立した2015年が館山市のオリパラ元年となるが、それ以前から数々の大会実績とともに、オリンピックの「館山ふるさと大使」の委嘱を進め、市民との交流に取り組んできた。

オリンピックの「館山ふるさと大使」には、「オリンピックメダリストに学ぼう！バレーボール教室、水泳教室」の開催や若潮マラソンのゲストランナー、オリパラ教育推進校での児童生徒との交流など積極的に尽力いただいている。

千葉県では2016年、森田知事がオランダを訪問し、オランダオリンピック委員会との間で、「2020年東京オリンピック・パラリンピックにおける事前キャンプに係る合意書」を締結した。この合意書の中で館山市は、トライアスロン、水泳(長距離)、ビーチバレー、パラ・トライアスロンの4種目について協議していくことが盛り込まれている。

これを受け、館山市にオランダの競技関係者がこれまでに7回延べ15人が訪れ、想定している施設を視察した。オランダ側からは「日本で行われる世界大会に出場する際に館山で合宿したい。」「市民との交流を行いたい。」と言った話もある。

オランダの選手との交流がさらに広がれば、オリパラを身近に感じ、市民一人ひとりの東京オリパラとなる。2020年以降もスポーツ観光が定着し、地域の活性化につながることで、市の重点プランの一つである「オリンピック・パラリンピックのレガシー(遺産)を見据えたまちづくり」の実現を目指していく。



◆レガシーの創造に向けて

「第4次館山市総合計画」に基づく「前期基本計画」に「オリンピック・パラリンピックのレガシー（遺産）を見据えたまちづくり」を重要プランの一つとして位置付けている。

また、「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた館山市の取組基本方針」及び「2020年東京オリンピック・パラリンピック館山市推進本部設置要綱」を策定し、豊かな自然環境や既存施設などを最大限有効活用し、事前キャンプ誘致などスポーツ観光を推進することにより、未来の市民が誇りに思うレガシー（遺産）を創造し、継続的な館山市の活性化を図る。

◆金メダリストとともに「オール館山」で臨む



オリパラ推進本部設立

2020年東京オリンピックの開会式が行われる日のちょうど5年前となる2015年7月24日にモントリオールオリンピック女子バレーボール金メダリストの田村悦智子氏を本部長とする2020年東京オリンピック・パラリンピック館山市推進本部を設立。これまでに4回会議を開催。取組基本方針に沿って、スポーツ観光を推進することにより、未来の市民が誇りに思うレガシー（遺産）を創造し、継続的な館山市の活性化を図るため、検討や協議を重ねている。

多くの市町でオリパラ推進本部を設立しており、首長が本部長を務めているケースがほとんどである中、民間の方、ましてや金メダリストが本部長を務める自治体はないと思われる。

推進本部では、県議、市長、副市長、教育長はオブザーバーとし、商工会議所、観光協会、町内会連合協議会など民間の方を本部員とし、「オール館山」での体制を整えている。

◆オリンピックと市民との交流

館山市では、館山市在住、出身又は館山市とゆかりがあり、国内外で活躍している人で、館山市及び南房総地域のイメージアップや地域活性化につながることを期待される方を「館山ふるさと大使」として委嘱している。

館山ふるさと大使は、現在19人だが、その内、下記の6人がオリンピックであり、市のイベントへの参加等を通じて、市民交流を行っている。



- ◆ 2008年6月委嘱 田村悦智子氏 (旧姓前田) 館山スポーツ大使
モントリオール五輪女子バレーボール金メダル
※2009年から毎年「オリンピックメダリストに学ぼう!バレーボール教室」で指導。
※2017年8月にフラッグツアーに併せ、現役時代のパネル展示。
※2017年オリパラ教育推進校の指定を受けた二中, 豊房小で講演。
- ◆ 2012年7月委嘱 佐々木美樹氏 (旧姓中尾) 館山スイミング大使
アトランタ五輪女子 100m背泳ぎ 8位, 200m背泳ぎ 5位
シドニー五輪女子 200m背泳ぎ銅メダル
※2010年から毎年「オリンピックメダリストに学ぼう!水泳教室」で指導。
- ◆ 2014年7月委嘱 上田 藍選手 館山トライアスロン大使
北京, ロンドン, リオ五輪出場
※館山若潮マラソンに 2013年から毎年ゲストランナーとして参加。
※2017年11月オリパラ教育指定校豊房小で講演と校内マラソン大会に参加。
- ◆ 2015年6月委嘱 細田雄一選手 館山トライアスロン大使
ロンドン五輪出場
※館山若潮マラソンに 2013年から毎年ゲストランナーとして参加。
※2017年11月にオリパラ教育指定校二中で講演と体験会に参加。
- ◆ 2015年9月委嘱 平井康翔選手 館山スポーツ大使
ロンドン, リオ五輪出場 リオでは8位入賞 (OWS)
- ◆ 2017年1月委嘱 貴田裕美選手 館山OWS大使
ロンドン, リオ五輪出場
※2017年1月の館山若潮マラソン大会でスターター, ゲストランナーとして参加。



◆GOOD PLACE! リラックスでき集中できる環境に絶賛



ビーチバレーコーチ視察



トライアスロンコーチ視察

館山市では、2015年から推進本部での検討や協議を踏まえ、館山市での大会実績があるトライアスロン（2012 アジア選手権大会）、OWS（2000～2015 ジャパンオープン）について、事前キャンプに適していることを、千葉県に対し、積極的にPRしてきた。

2016年7月に森田知事がオランダを訪問し、千葉県とオランダオリンピック委員会との間で、「2020年東京オリンピック・パラリンピックにおける事前キャンプに係る合意書」が締結された。

これは、2020年の事前キャンプに向けて、オリンピック13種目、パラリンピック9種目について、千葉県内でオランダの各競技団体の視察を受け入れ、具体的な条件の調整等を行っていくことについて合意したものだが、この中で館山市は、トライアスロン、OWS、ビーチバレー、パラリンピックトライアスロンのオリンピック3種目、パラリンピック1種目について協議していくことが盛り込まれた。

この合意書を受けて、2016年10月には、オランダオリンピック委員会プロジェクト

マネージャー、水泳連盟コーチ、バレーボール連盟技術部長の3名が想定している練習場所等を視察した。

視察団からは、「ロケーションが素晴らしくリラックスできる環境である。各設備等も問題ない。オランダに帰って検討し、必要なことは連絡を取り合っていきたい。」との前向きな評価を頂いた。



視察時の様子

◆サイクリングパラダイス

千葉県、館山市、鴨川市、南房総市、鋸南町を構成団体とした南房総自転車競技誘致分科会を設置し、ロードレースの誘致に向けて、2016年3月にPR動画を製作したほか、パンフレット等により、千葉県を通じて、競技関係者にPRしてきた。

この甲斐があり、2017年2月にはオランダの自転車（ロードレース）コーチが館山市に宿泊し、館山市から鴨川市に至る130kmを実車走行し、信号・交通量がともに少なく、ロケーションも良い南房総地域の道路を気に入っていただけた。



さらに2017年10月には、オランダからビーチバレー男女それぞれのコーチ、トライアスロンコーチ、自転車（ロードレース）コーチ（2度目）、パラサイクルコーチが館山市を視察した。いずれの競技も気に入っていただけた上、「来年の国内世界大会前にも館山市で合宿をしたい。」、「シーズンオフに館山市で合宿したい。」、「市民との交流を行いたい。」との話もあった。

オランダ視察の概要

第1回 2016年10月21日

オランダ視察者（3名）

- ・オリンピック委員会プロジェクトマネージャー：イボンヌ・ファン・デア・ヘール氏
- ・水泳連盟コーチ：マーク・ファーベル氏
- ・バレーボール連盟技術部長：ブラム・ロンヌス氏

視察先：宿泊施設（ビーチバレーコート）、館山湾、千葉県立館山運動公園（トレーニングジム）

第2回 2017年2月16日

オランダ視察者（1名）

- ・自転車（ロードレース）コーチ：トゥウオールド・フェネベルク氏

視察先：宿泊施設、房総フラワーライン他、南房総市、鴨川市の公道、市内スーパー他

第3回 2017年10月10日

オランダ視察者（3名）

- ・トライアスロンコーチ：ルイス・デラハイエ氏
- ・ビーチバレー男子コーチ：ヘイス・ロンヌス氏
- ・ビーチバレー女子コーチ：リチャード・デ・コヘル氏

視察先：宿泊施設（ビーチバレーコート）、館山湾、房総フラワーライン、館山市営25m室内温水プール、館山市営50mプール、千葉県立館山運動公園（トレーニングジム）、館山市営出野尾多目的広場

第4回 2017年10月12日

オランダ視察者2名

- ・自転車（ロードレース）コーチ：トゥウォルド・フェネベルク氏
- ・パラ自転車（ロード）コーチ：エルカ・ファン・デル・ワル氏

視察先：宿泊施設，房総フラワーライン他～安房地域の公道，千葉県立館山運動公園（トレーニングジム）

第5回 2018年9月8日

オランダ視察者2名

- ・オリンピック委員会チームドクター：ペターファルスタッペン氏
- ・オリンピック委員会チームドクター：マーティン・ムーン氏

視察先：市内の医療機関，オランダ関係者が視察している宿泊先

第6回 2018年9月21日～23日

オランダ視察者2名

- ・水泳連盟コーチ：マルセル・ワウダ氏
- ・リオ五輪OWS男子金メダリスト：フェリー・ウェールマン選手

視察先：第94回日本選手権水泳競技大会OWS競技（北条海岸）

第7回 2018年10月31日

オランダ視察者2名

- ・オリンピック委員会：フランス・ファン・ダイグ氏
- ・トライアスロンコーチ：ジョディ・メレンバーク氏

視察先：館山市営50mプール，宿泊施設，館山湾，房総フラワーライン～ロードバイクコース（46.4km），館山市営出野尾多目的広場，千葉県立館山運動公園（トレーニングジム）



◆優良キャンプ地としてお墨付き ～事前キャンプガイドに掲載～

2016年12月に、2020年大会の事前キャンプ地として、国内の優良キャンプ地を世界各国に向けて発信するホームページで、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会の東京2020事前キャンプガイドに館山市が掲載された。

この掲載には、競技ごとに示された国際基準を満たし、国内競技団体の要件確認を得た施設を有することが必要であるが、館山市では、トライアスロンにおいて、館山湾、館山市営25メートル室内温水プール、館山市営50メートルプール及び房総フラワーラインが、自転車ロードレースにおいて、房総フラワーラインが掲載された。

ホームページは、日本語のほか、英語、フランス語の表記もあり、競技や地域別で検索がで、今後、世界各国の競技関係者から注目されるものと期待している。

この他にも全国知事会や千葉県スポーツコンシェルジュの外部のホームページにも市内の施設を掲載し、関係者の目に触れる機会を広げている。

<参考URL>

■東京2020事前キャンプガイド ←閉鎖

<https://pregamestraining.tokyo2020.jp/jp/>

■全国知事会

<http://sportscamp.jp/>

■千葉県スポーツコンシェルジュ

<http://sc.ccb.or.jp/ja/>



事前キャンプガイドに掲載

◆市の取組みに国の評価 ～ホストタウン～

オランダとの交流事業を対象として、2017年10月27日に内閣官房のホストタウン第五次申請したところ、12月11日に登録された。ホストタウン登録されたことで、国からの財政支援を受けられるようになった。

また、同年12月19日はオリンピック・パラリンピック担当大臣とホストタウン自治体の意見交換会に呼ばれ、市長及び田村本部長が市の取組状況を説明してきた。大臣からは、既に田村本部長はじめ6名のオリンピックを「館山ふるさと大使」に委嘱し、オリンピックメダリストに学ぼう！バレーボール教室や水泳教室、若潮マラソンゲストランナー、教育推進校の二中、豊房小での児童生徒との交流など、実際に交流を展開している点、beyond2020プログラム、東京2020参画プログラムの認証事業を展開している点を高く評価された。

オランダ以外では、2017年9月にはイギリスのパラトライアスロンのコーチが視察されている他、スイスのトライアスロンやオーストラリアのトライアスロンチームから資料提供を受け対応している。



鈴木オリパラ担当大臣との意見交換会

◆先進的に「支えるスポーツ」に着目

2015年4月28日にNPO法人日本スポーツボランティアネットワークに行政初となる正会員として承認された。館山若潮マラソン、館山わかしおトライアスロン大会に多くのスポーツボランティアが参加し、年々増加している。スポーツボランティアの経験を通し、海外選手と交流ことやイベントでの一体感を深め、「支えるスポーツ」を進めている。2015年から毎年「スポーツボランティア研修会」を開催しスポーツボランティアの育成を行っている。



スポーツボランティア研修会の様子

<参考（スポーツボランティア参加人数（延べ人数））>

○館山若潮マラソン大会

2015年	91人
2016年	99人
2017年	155人
2018年	208人
2019年	195人
2020年	181人

○館山わかしおトライアスロン大会

2015年	102人
2016年	111人
2017年	157人
2018年	147人
2019年	177人

◆行政をあげて“オリパラ”に取り組む

◆文化参画プログラム（生涯学習課）

オリンピック・パラリンピックは、スポーツの祭典であると同時に文化の祭典でもあることから、国では文化プログラムの認証事業を推奨している。

<2017年>

「東京2020参画プログラム」認証事業 → 「館山市文化祭」

「Beyond2020プログラム」認証事業→「第54回館山観光まつり館山湾花火大会」

「第23回全国大学フラメンコフェスティバル及び関連事業」

「第36回南総里見まつり実行委員会」



応援プログラムマーク

<2018年>

「Beyond2020プログラム」認証事業→「館山のまつり」

「第55回館山観光まつり館山湾花火大会」

「第24回全国大学フラメンコフェスティバル及び関連事業」

「第37回南総里見まつり実行委員会」

（「やわたんまち」を申請中）



(千葉県beyond2020ロゴマーク)

◆都市鉱山から作る！みんなのメダルプロジェクト 2017年～(環境課)

携帯電話等に含まれる金等をリサイクルし、オリンピック・パラリンピックのメダルにしようとする国の施策「都市鉱山から作る！みんなのメダルプロジェクト」を展開しており、館山市では環境課が回収箱を設置し所管している。

(2019年3月31日回収終了)



みんなのメダルプロジェクト

◆ビーチクリーン 2017年～(環境課)

一宮町で大会開催が行われることになった「サーフィン」では、館山市から銚子市までの県内外房16市町の共同事業として、千葉県が「おもてなしCHIBAプロジェクト in 九十九里・外房～ビーチ☆クリーン☆キャンペーン東京2020～」を展開し参加している。



ビーチクリーン 2017年夏

◆Wi-Fiの設置(情報課)

2020年以降のスポーツ観光を見据え、事前キャンプのメインとなる房総フラワーライン中、「洲埼灯台トイレ」と「ふれあいショップ平砂浦」に2017年9月にWi-Fiを設置。

◆ひまわりと笑顔で結ぶオリンピック～ 2018年～

東京オリンピック・パラリンピックに向けた「おもてなし」の機運を高めるため、「おもてなしCHIBAプロジェクト」の第二弾として、市内の保育園・幼稚園・小学校・中学校で育てた「ひまわり」で大会会場周辺を装飾し、「おもてなし」の心で選手・関係者、観客を迎える。



ひまわりの成長を見守る園児たち



園児が育てたひまわり

◆オリパラ教育推進校 2017年～(教育総務課)

「千葉県オリンピック・パラリンピックを活用した教育推進事業」で市立第二中学校及び市立豊房小学校が指定校となり、児童生徒へオリパラ教育を行っている。

<2017年度>

- 豊房小 9月 田村悦智子「オリンピックに向けて」(全校)
10月 ボッチャ体験会 市原ボッチャクラブ(全校)
11月 トライアスリート上田藍選手講演及び校内マラソン大会参加(全校)
- 二 中 7月 田村悦智子「オリンピックへの道」
11月 スポーツボランティア(1年生)
11月 トライアスリート細田雄一選手講演及び体験会(1年生)
11月 千葉科学大学教授 田井中幸司氏「なぜ怪我をするのか?」(2年生)
11月 元 JALCA 江上いずみ氏「おもてなし」(3年生)

<2018年度>

- 豊房小 11月 「ゴールボール」体験教室 千葉ゴールボールクラブ(3～6年)
日常的な取組 3年 福祉体験によるパラリンピック種目の理解
4年 福祉体験によるパラリンピック種目の理解
「世界のくにを調べる」学習におけるキャンプ候補地となっているオランダについて学習
5年 ボッチャによる他校、地域住民との交流
6年 キャリア教育を通じたスポーツ体験
- 二 中 10月 トライアスリート細田雄一選手講演及び体験会(1年生)
11月 元 JALCA 江上いずみ氏「グローバルマナーとおもてなし」(1年生)
11月 シッティングバレーボール体験&オランダ語講座(2年生)



◆市内各所にバイクラックの設置で快適性 UP

トライアスロン元アジアチャンピオンの山本淳一氏が推奨する「南房総・花海街道ロードバイクコース」などのモデルコースの設定、HPでのPRなどにより、館山市内を走るサイクリストも増えてきており、市内8か所にバイクラックを設置し、サイクリストが休憩しやすい環境整備を行った。この設置により、サイクリストの利便性が高まることも分かり、私設のバイクラックの設置も増えている。



渚の駅設置バイクラック



北条海岸設置バイクラック

◆東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアー(スポーツ課)

東京オリンピック・パラリンピックのフラッグを東京都各区市町でお披露目した後、大会開催県である千葉県にもやってきたが、県内では事前キャンプを予定している市のみの巡回となり、県南では館山市のみにフラッグがやってきた。

フラッグツアー期間に併せて、「1976年モントリオールオリンピック女子バレーボール写真パネル展」及び「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会千葉県開催8競技紹介パネル展示」を行い、3日間で3,362名が来場した。

2017年8月8日～8月10日 渚の駅「たてやま」玄関ロビー。



東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアー



1976年モントリオールオリンピック女子バレーボール写真パネル展

◆館山発！県下全域でタンデム解禁

2017年2月にオランダ・ロードレースコーチが視察した際に、タンデム自転車の公道走行が可能になるよう強く求められた。タンデム自転車は、視覚障害をもった方が健常者を先導とした2人乗りの自転車であるが、道路交通法上、自転車の2人乗りに該当



タンデム自転車

し、公道での走行が禁止されていた。交通事情は都道府県単位で異なるため、都道府県単位で定める道路交通法施行細則で、静岡県や長野県など16府県でタンデム自転車の公道走行を認めていた。このため、田村本部長、市長、議長連名で館山警察署に「タンデム自転車の公道走行を求める要望書」を提出。その後、安房地域の2市1町や関係団体をはじめ、南房総観光連盟、千葉県サイクリング協会、千葉県障がい者スポーツ協会、千葉県トライアスロン連合、館山市トライアスロン協会からも同様な要望書を県警に提出し、2018年4月から千葉県全域でタンデム自転車の公道走行が解禁された。

これで、東京から最も近いタンデム自転車走行県となり、パラアスリートのみならず、足が不自由な高齢者も自転車を楽しむことができ、スポーツ観光の推進にもつながる。現在、観光みなと課で無料レンタルを行っている。

◆2018年OWS パンパシ・日本選手権も館山で

「第13回パンパシフィック水泳競技選手権大会OWS競技」が、8月14日に北条海岸で開催された。パンパシは、オリンピック、世界水泳と並ぶ水泳界の世界三大大会の一つ。カナダ、アメリカ、オーストラリア、日本を会場に4年に1度開催され、前回の日本開催は2002年の横浜大会。2006年のカナダ大会からOWSがパンパシに採用されている。

北条海岸では、2000年から2015年まで、毎年、日本水泳連盟が主催する「ジャパンオープン」が開催されてきた実績がある。

6月2日に日本水泳連盟が主催する「OWSオーシャンズカップ2018」(昨年、日水連主催の「OWS強化練習試合」として開催。)、7月15日、16日に千葉県水泳連盟主催の「第22回OWSフェスティバル」、9月23日に日本水泳連盟主催の「第94回日本選手権水泳競技大会」がいずれも北条海岸で開催された。



OWS競技の様子

◆欲しいのは、現場のデータ

館山市は、2015年から毎年、2020年大会前1カ月(7/7~8/6)の館山湾の気温、水温を測定し、市ホームページで公表(英語版を含む。)している。

2018年からは、大会前1カ月に加え毎年5月に行われるITU世界トライアスロンシリーズ横浜大会の前5日間とパラリンピック開会式の前5日間も測定を始めた他、各期間に水質検査も始めた。

事前キャンプが想定されるこれらの期間の館山湾の状況を公表することで、事前キャンプの参考にしてもらう目的。

2015年当初、館山市の環境をPRする際、気象庁が発表するデータを使おうと考えたが、館山ふるさと大使である平井康翔選手から「欲しいのは、気象庁のデータではなく、現場のデータ。」とアドバイスを受けたことがきっかけになっている。2016年にオランダの水泳連盟コーチが視察した際に「この海の水温はどのくらいか？」と質問を受け、このグラフを示すと「Perfect!」と喜ばれた。

2017年にオランダのトライアスロンコーチが視察した際に「この海が安全ならいい環境だ。」と指摘を受け、しっかりとしたデータで安全性を立証し、安心してもらうため水質検査を追加した。

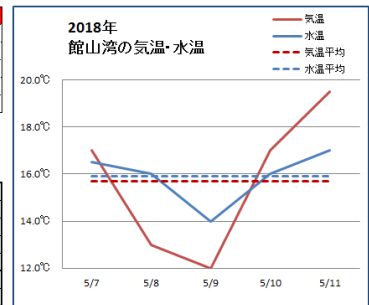
オランダのトライアスロンは、毎年横浜大会に出場していることから、この際の前キャンプの可能性もあること、パラ・トライアスロンの事前キャンプも視野にし、それぞれの前5日間も測定することにした。

6年間の蓄積では、OWS、トライアスロンともそれぞれの競技で定める基準値を超える水温の日はなく、2018年以降、3回/年の水質検査でも各基準値をクリアしている。

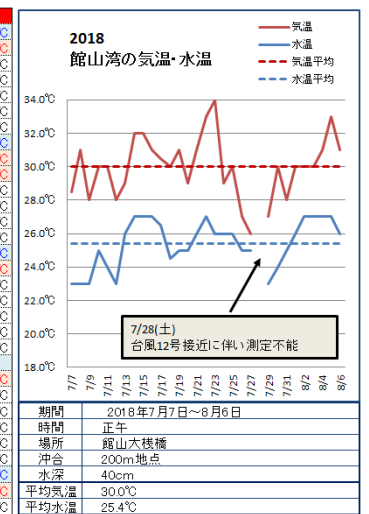
2018年データ

日付	曜日	天気	気温	水温
2018/5/7	月	雨	17.0℃	16.5℃
2018/5/8	火	曇り	13.0℃	16.0℃
2018/5/9	水	曇り	12.0℃	14.0℃
2018/5/10	木	晴れ	17.0℃	16.0℃
2018/5/11	金	晴れ	19.5℃	17.0℃

期間	2018年5月7日~5月11日
時間	正午
場所	館山大橋橋
沖合	200m地点
水深	40cm
平均気温	15.7℃
平均水温	15.9℃

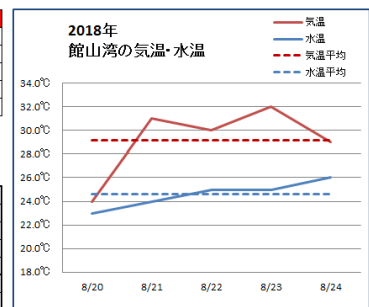


日付	曜日	天気	気温	水温
2018/7/7	土	晴れ	29.5℃	23.0℃
2018/7/8	日	晴れ	31.0℃	23.0℃
2018/7/9	月	晴れ	28.0℃	23.0℃
2018/7/10	火	晴れ	30.0℃	25.0℃
2018/7/11	水	晴れ	30.0℃	24.0℃
2018/7/12	木	曇り	28.0℃	23.0℃
2018/7/13	金	晴れ	29.0℃	26.0℃
2018/7/14	土	晴れ	32.0℃	27.0℃
2018/7/15	日	晴れ	32.0℃	27.0℃
2018/7/16	月	曇り	31.0℃	27.0℃
2018/7/17	火	曇り	30.5℃	26.5℃
2018/7/18	水	晴れ	30.0℃	24.5℃
2018/7/19	木	晴れ	31.0℃	25.0℃
2018/7/20	金	晴れ	29.0℃	25.0℃
2018/7/21	土	晴れ	31.0℃	26.0℃
2018/7/22	日	晴れ	33.0℃	27.0℃
2018/7/23	月	晴れ	34.0℃	26.0℃
2018/7/24	火	晴れ	29.0℃	26.0℃
2018/7/25	水	晴れ	30.0℃	26.0℃
2018/7/26	木	晴れ	27.0℃	25.0℃
2018/7/27	金	晴れ	26.0℃	25.0℃
2018/7/28	土	曇り	測定不能	
2018/7/29	日	晴れ	27.0℃	23.0℃
2018/7/30	月	晴れ	30.0℃	24.0℃
2018/7/31	火	晴れ	28.0℃	25.0℃
2018/8/1	水	晴れ	30.0℃	26.0℃
2018/8/2	木	晴れ	30.0℃	27.0℃
2018/8/3	金	晴れ	30.0℃	27.0℃
2018/8/4	土	晴れ	31.0℃	27.0℃
2018/8/5	日	晴れ	33.0℃	27.0℃
2018/8/6	月	晴れ	31.0℃	26.0℃



日付	曜日	天気	気温	水温
2018/8/20	月	雨	24.0℃	23.0℃
2018/8/21	火	晴れ	31.0℃	24.0℃
2018/8/22	水	晴れ	30.0℃	25.0℃
2018/8/23	木	曇り	32.0℃	25.0℃
2018/8/24	金	曇り	29.0℃	26.0℃

期間	2018年8月20日~8月24日
時間	正午
場所	館山大橋橋
沖合	200m地点
水深	40cm
平均気温	29.2℃
平均水温	24.6℃



計量対象	単位	検査結果			OWS FINAの定める 基準値※1	トライアスロン ITUの定める 基準値
		H30.5.11	H30.7.26	H30.8.24		
水素イオン濃度 (pH)		8.1	8.2	8.1	-	6~9
化学的酸素要求量 (COD)	mg/L	2.4	2.1	1.9	8mg/L以下	-
病原性大腸菌 (O-157)		不検出	不検出	不検出	-	250個/100mL以下
糞便性大腸菌群数	個/100mL	6	<2	2	1,000個/100mL以下	-
油膜		無し	無し	無し	常時は認められない	-
透明度		全透(1m)	全透(1m)	全透(1m)	0.5m以上	
水温	℃	16	27.6	29.2	31℃以下/水深40cm	32℃未満/水深80cm

◆強豪USAトライアスロンも館山を絶賛！

USAトライアスロンは、事前キャンプガイドや上田藍選手のコーチなどから館山の評判を聞き、独自に調査したうえ、2019年1月に館山市に接触してきた。2月には、ハイパフォーマンスゼネラルマネージャーの Joho Farra 氏とハイパフォーマンスオリンピックプログラムシニアマネージャーの Courtney Gardner 氏が視察に訪れた。

5月18日に開催されたITU世界トライアスロンシリーズ横浜大会後には、この2名に加え、テクニカルディレクターの Ryan Bolton 氏も訪れ、職員がロードバイクと一緒に試走しながら案内するなど、各施設の最終確認を行い、館山市が事前キャンプに適していることを確認し、5月20日に「USAトライアスロンの2020年東京オリンピック競技大会事前キャンプに関する合意書」を締結した。

横浜大会エリート女子では、USAが1位から3位まで独占。名実ともに世界のトップ選手が館山を訪れることになった。



◆オランダ・USAが館山から世界に！











2019年8月15日からお台場で開催される「ITUワールドトライアスロンオリンピッククオリフィケーションイベント」に出場するため、オランダトライアスロンが8日から13日まで、USAトライアスロンが5日から13日まで市内で事前キャンプを行った。

オランダは、5名の選手(表参照)と Louis Delahaije, Jordi Meulenberg, Sander Berk, Edwin Meulenberg の4人のスタッフ計9名。USAは、10名の選手(USA 4名, 他国6名, 表参照)と Ryan Bolton, Paulo Sousa, Ian, O'Brin (いずれもコーチ), Courtney Gardner (事務局), John Barone (シェフ) の5人のスタッフ計15名。両チームともに「最高のキャンプができた！来年またくる！」と絶賛だった。

オランダトライアスロン 事前合宿メンバー

	Name	Country	
1	<p>Rachel Klamer</p> <p>WTS アブダビ(2018年)で優勝し、2019年のWTS ハンブルクとローザンヌグラントファイナルの両方で4位。 スーパーリーグトライアスロンシリーズで複数の表彰台を獲得。</p>	NED	<p>Home > Athletes Rachel Klamer Netherlands · Born: 1990</p> 
2	<p>Jorik van Egom</p>	NED	<p>Home > Athletes Jorik Van Egom Netherlands · Born: 1995</p> 
3	<p>Marco van der Stel</p>	NED	<p>Home > Athletes Marco Van Der Stel Netherlands · Born: 1991</p> 
4	<p>Maya Kingma</p>	NED	<p>Home > Athletes Maya Kingma Netherlands · Born: 1995</p> 
5	<p>Richard Murray</p>	RSA	<p>Home > Athletes Richard Murray South Africa · Born: 1989</p> 

アメリカトライアスロン 事前合宿メンバー

	Name Country			Name Country	
1	Eli Hemming 【USA】 2018 宮崎 銀メダル	<p>Home › Athletes Eli Hemming United States › Born: 1995</p> 	6	Taylor Knibb 【USA】 ITUU-23Jr.MIX リレー 世界選手権銅メダル	<p>Home › Athletes Taylor Knibb United States › Born: 1998</p> 
2	Wian Sullwald RSA	<p>Home › Athletes Wian Sullwald South Africa › Born: 1993</p> 	7	Claire Michel BEL	<p>Home › Athletes Claire Michel Belgium › Born: 1988</p> 
3	Taylor Spivey 【USA】 2019 アブダビ 銀メダル 2019 横浜 3位	<p>Home › Athletes Taylor Spivey United States › Born: 1991</p> 	8	Valerie Bartholemy BEL	<p>Home › Athletes Valerie Bartholemy Belgium › Born: 1991</p> 
4	Summer Rappaport 【USA】 2019 横浜 2位 2020 年オリンピックチーム 出場権獲得した最初の アスリート	<p>Home › Athletes Summer Rappaport United States › Born: 1991</p> 	9	Kaidi Kivioja EST	<p>Home › Athletes Kaidi Kivioja Estonia › Born: 1993</p> 
5	Yuko Takahashi 【JPN】 2019 横浜 4位入賞 2018 アジア競技大会 優勝	<p>Home › Athletes Yuko Takahashi Japan › Born: 1991</p> 	10	Miriam Cassillas ESP	<p>Home › Athletes Miriam Casillas Garcia Spain › Born: 1992</p> 

◆小学生が手づくりの品でおもてなし～USAトライアスロン豊房小学校の児童と交流～

事前キャンプ期間中の8月7日、豊房小学校の児童11名が、USAトライアスロンとの交流会を行った。

児童達は、メッセージ入りの旗や市内の観光スポット等を記載したガイドブックを作成し、児童代表者が英語で激励し、選手達に手渡した。

選手は、「子供たちからのプレゼントはとても嬉しい。手作りのガイドブックを見ながら市内を廻りたい。」コメント。

児童からも、「実際に選手と交流してトライアスロンに興味がわいてきた。8月15日から東京で開催される大会では優勝してもらいたいし、来年のオリンピックでも金メダルを獲ってほしい。」と選手・児童ともに笑顔の絶えない交流の場となった。



USAトライアスロン豊房小学校の児童

◆オランダトライアスロン 事前キャンプ実施

～二中学校生徒とオランダトライアスロンが交流～

2016年7月に千葉県とオランダオリンピック委員会との間で締結された「2020年東京オリンピック・パラリンピックにおける事前キャンプに係る合意書」に基づき、USAトライアスロンと同時期に館山市で事前キャンプを実施した。

トレーニングは、以前に視察したロードバイクコースや50mプールなどをメインに行った。

9日には、館山第二中学校の生徒2人がオランダトライアスロンチームの宿泊先を訪れ、選手らと交流した。生徒から歓迎ポスター3枚と応援旗、扇子を選手らに渡した。

選手らは思わぬ歓迎を楽しみ、生徒らは「オリンピックに出場したら絶対、応援します!」と話していた。



オランダトライアスロンの皆さんと二中学校生

<2021.09.06 現在>

◆最高のキャンプだった！お台場を見てくれ！

8月15日からの東京のお台場で開催される ITU オリンピッククオリフィケーションイベントに出場するため、13日にオランダトライアスロンの皆さんが、お台場に向けて出発する際、館山市役所を訪れ、市長はじめ職員で出迎えた。

市長から「フラワーライン等でみなさんを見かけた。市民から“すごいね”と多くの声が寄せられています。皆さんが館山市を“日本のふるさと”と思っていただけるように、自宅から試合に送り出す家族のように、お迎えしサポートいたします。15日からのテストイベントでは、いい結果がでますよう祈っています。」と挨拶。

ヘッドコーチのルイス・デラヘイヤさんからは、「素晴らしい環境でとてもリラックスできたし、美味しいものも食べられた。館山の環境は東京に近いので、良いコンディションをつくることができた。会う人がみんなフレンドリーであたたかく迎えてくれ最高のキャンプだった。お台場ではトップ5を目指します。」と市長と固く握手した。

5日から館山市でキャンプを行っていた USA トライアスロンもこの日、お台場に出発した。



オランダトライアスロンの皆さんと市役所職員